

長野赤十字病院医誌投稿規程

本雑誌は医学・医療に関する総説、臨床研究、症例報告、記録、業績などを掲載し、年一回以上発行する。

1. 投稿資格 本院職員および関係者
2. 原稿の様式

1) 原稿は和文または英文とする。論文は表題頁、要旨、本文、参考文献、図表（およびその説明文）で構成する。

表題頁には、論文題名、著者名、所属、キーワード（3個以内）を記す。

要旨（abstract）は、総説・臨床研究が400字以内、症例報告が300字以内であること。

英文論文の要旨は英文およびその日本語訳（400字以内）も添付する。なお和文および英文の場合ともにプリントした原稿と一緒に電子データ（原則として、Microsoft Word とする）を提出すること。

2) 原則として、原稿は12,000字以内とする。

3) 図（写真）・表には表題と説明をつけ、挿入箇所を原稿に明記し、原稿の欄外に図1、表1のように朱書する。図は明瞭、鮮明なものとする。写真は原則として白黒のみとし、カラー写真は実費とする。なお図表（写真）・表は、それぞれ原稿1枚とし、合計10枚までとする。

4) 数字は算用数字を用いる。度量衡の単位はCGS単位を使用する。

5) 薬品名は一般名を原則とし、必要に応じて商品名を（ ）内にいれる。

6) 略語を用いる場合は、初出時に正式表記を併記する。

例)

大後頭三叉神経症候群（Great occipital trigeminal syndrome : GOTS）

7) 参考文献は本文中に引用した順に番号をつけ、文中には肩付き番号を記す。

著者が2名以上の場合には筆頭者のみを記載し、その後「他」あるいは「, et al.」をつける。

雑誌名は、原則として Index Medicus、医学中央雑誌の省略形を用いる。

雑誌の場合 著者名：表題、雑誌名 巻数：頁-頁、発行年。

書籍の場合 著者名：書名、発行地、発行所、発行年、頁-頁。

著者名：章の表題、編集者（監修者）名：書名、発行地、発行所、発行年、頁-頁

ウェブサイトの場合 執筆者名：ウェブサイトのタイトル、該当ページ名、URL（閲覧日）

例)

雑 誌

1) 川越昭三, 他：水の性質と透析. 総合臨 36 : 407-410, 1987.

2) Devriese P.P., et al: The natural history of facial paralysis in herpes zoster. Clin. Otolaryngol. 13: 289-298, 1988.

書 籍

1) 諏訪邦夫：呼吸不全の臨床と生理. 東京, 中外医学社, 1978, 133-167.

2) 小椋陽介：酸塩基平衡とCa, P代謝. 越川昭三編：酸塩基平衡. 東京, 中外医学社, 1987, 183-196.

3) Bridenbaugh L.D.: Neural blockade for outpatients. Cousins M.J., et al: Neural blockade

in clinical anesthesia and management of pain. Philadelphia, J.B. Lippincott company, 1988, 663-668.

ウェブサイト

1) 厚生労働省：救急医療体制基本問題検討会報告書. 平成9年12月11日.

<https://www.mhlw.go.jp/www1/shingi/s1211-3.html> (閲覧日2020年3月16日)

3. 患者プライバシー保護

- 1) 患者個人を特定できる情報（氏名，ID番号，イニシャル，住所，詳細な受診月日）は記載しない。ただし，疾患の発生場所が病態などに関与する場合は区域に限定して記載することを可とする。（例：長野県，長野市，北信地方，など）。また，日付は個人が特定できないと判断される場合は年月日までを記載可とする。
 - 2) 職業歴，既往歴，家族歴は病態解析に必要な場合のみに限り可とする。ただし最小限に留める。
 - 3) 他施設からの紹介の場合，紹介医，施設名，所在地は記載しない。
 - 4) 顔写真を提示する場合は目を隠す。眼疾患の場合は顔全体が分からないように眼球のみの拡大とする。
 - 5) 症例を特定できる生検，剖検，画像情報に含まれる番号は削除する。
 - 6) 以上の配慮をしても個人が特定できる可能性がある場合は，発表に関する同意を患者（または遺族か代理人，保護者）から得るか，または生命倫理委員会の承認を得る。
 - 7) 遺伝疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う場合の症例報告は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省，厚生労働省及び経済産業省）（平成13年3月29日）による規定を遵守する。
4. 原稿は，医誌編集部に提出する。原稿の採否，掲載順その他は編集部が決定する。掲載原稿は原則として返却しない。
 5. 校正は著者校正1回とする。用語，仮名づかいは統一のため編集の際に訂正することがある。
 6. 掲載料は無料とする。別刷20部までは無料とし，それ以上は10部単位で実費負担とする。
 7. 本誌に掲載された論文の著作権は，長野赤十字病院に帰属する。